

ふれあい新聞

第101号 (季刊)
平成24年1月
田中野田町内会

<http://townweb.e-okayamacity.jp/tanakanoda/>



新年明けましておめでとうございます

町内会長 和 気 茂

平成24年の新年を迎え、謹んでお慶びを申し上げます。また、平素から町内会運営にご理解とご協力賜り心より感謝申し上げますとともに、本年もどうかよろしくお願い申し上げます。

昨年の出来事

さて、昨年を振り返ってみると、千期出来ない大きな悲しみと苦悩に見舞われることになった「東日本大震災」が3月11日に起きました。不幸にもその上に原発事故が追討ちをかけ、被害をさらに大きなものにしました。

☆当町内では9月3日台風12号の長雨で床下浸水の被害にあわれたお宅もあり、心配と不安な一日を過ごす事態が起きました。

平成22年5月完成した「田中ポンプ場」の直径1m近くのポンプ3本が、休みなく雨水を笹ヶ瀬川に排水してくれたお陰で最小限の被害で済んだと思っています。水利委員やポンプ設置にご尽力いただいた方々にはあらためて感謝申し上げます。この教訓から、当町内の四つの公園に「土嚢袋と山土」を備えました。

☆「ふれあい新聞」が初回発刊以来25年目で100号を迎え「記念号」が発刊されました。「ふれあい新聞」は田中野田の誇りの一つと思っています。(10月)

☆白鬮宮秋まつりには当町内が六年に一度の当番にあたり、多くの方々のご協力をいただき無事その任務を果たすことが出来ました。(10月)

☆田中野田バス停前の「ゴミステーションと掲示板」の再築。(9月～10月)

☆町内2ヶ所に設置されている町内案内地図の付け替え(3月)

☆町内設置の防火用消防器具が3月25日盗難

に遭い補充・修理いたしました。修理費用は加害者より全額返還されております。

新年度への想い

①先の台風での水害被害や避難勧告を受けた教訓から避難場所を学校、公民館以外にも高い建物を定めておく必要があると考えています。

今年度から岡山県により笹ヶ瀬川堤防の「かさ上げ」が約80cmの高さで、健康づくり財団付近から御南大橋まで着手される見通しです。これも大きな防災対策の一助となり、安心につながるものと思います。

②屋根・囲いのないゴミステーションで補修か、再築が可能かを検討していきたい。

③公会堂内の机等の備品でかなり老朽化しているものが散見されるので買換えも含めて検討したい。

④街路灯については、岡山市からの補助金をもって「LED」電灯に順次切り替えていく予定です。

⑤コミュニティー、親睦等の推進
笹ヶ瀬川の堤防や、福祉の郷付近、又各公園では春になると桜が咲きます。町内による花見の計画はいかがでしょうか。

最後に、世相を一字で現す「今年の漢字」が「絆」に決まりました。この「絆」がわが町内にも益々根付いていくことを願っております。皆様には、引き続き町内会運営にご理解とご支援の程よろしくお願い申し上げます。

